

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社 代表取締役 井上 明美

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日行われた「サッカーFIFA女子ワールドカップカナダ大会」で、なでしこジャパンは決勝でアメリカに敗れたものの、見事準優勝！！その戦いぶりは、多くの人々を感動の渦に巻き込みました。

いよいよ夏本番！楽しいことがいっぱい！レジャーやマリンスポーツetc・・・これから楽しい夏を満喫しようという方も、多いのではない

でしょうか？

弊社のスタッフも、毎日自転車をこぎ、汗をかきながら水分・塩分補給に余念がありません。心待ちにされているご利用者様のために、暑さにも負けずに奔走致します。

夏は熱中症が多発する時期。私たちはご利用者様に対し、常に水分補給を促すよう心掛けておりますが、皆様方もどうか脱水状態にならないようになさって下さいませ。



## サンライズの物語

### 一人の男性の、潔い生き方と、最期の迎え方・・・

#### 家族思いの男性が綴った、感動の物語

先日、あるご利用者様が天国に旅立たれ、後日そのご長女様よりお手紙をいただきました。その内容に、弊社スタッフは皆涙なみだ・・・

その方は、自営業を営んでおり、従業員を何十人も抱えていた方でした。

長年頑張ってきた商売を、ついに辞めることとなり、その決断をした矢先・・・

ご自宅で倒れられ、何と診断は脳梗塞。左半身に麻痺が残ってしまい、在宅療養となりました。

しかし、悲劇は続きます。昨年自宅で転倒し、それが原因で寝たきり状態になってしまったのです。

聡明で仕事も頑張り、家族愛に満ちた方が、突きつけられた「寝たきり生活」という現実。心の整理がつかず、生きる希望を失いかけたそうです。

それでも奥様は、献身的な介護を続けてきました。

しかし、長年の介護疲れもあったのか、奥様は体調不良で入院されてしまいます。

そして、残念なことにご本人に脳梗塞が再発し、ついに天国へと旅立ってしまったのです。

その方はいつも、奥様を気遣っていました。「妻が可哀想だ」「申し訳ない」と、口癖のようにおっしゃっていました。

私は、旅立たれる前日、その方にお目にかかったのですが、こんなことを口にされたのです。「家の子供たちは皆よい子達だよ」「俺の世話をしてくれる妻に感謝したい」と。

ご自身、相当つらいはずなのに、口にするのは家族への感謝の言葉ばかり。

奥様にこれ以上世話をかけたくないと強い思いが、人生の最期に結びついてしまったのではないかと考えると、胸が詰まります。

もっとできることがあったのではないかと。その無力さに皆愕然としていた時に、ご長女様からお手紙をいただいたのです。

お手紙には、「パパをありがとう」という言葉が何回も綴られていました。何もしてあげられなかったのに・・・

こんな無力な私たちに、「ありがとう」といってくださる方がいると思うと、それだけで力が湧いてきます。そして、介護職員として襟を正さなければならぬと、強く心に誓う次第でございます。

## 認知症、どう接する？

## 狭山台小で基礎知識の講座

狭山市の狭山台小学校で「認知症キッズサポーター養成講座」が行われた。高齢社会を迎える中、介護を必要とするお年寄りに、自分たちがどのようなことができるか、基礎知識を学んだ。

認知症を正しく理解して偏見をなくし、患っても安心して暮らせる地域づくりをしようと、市は市民や中学・高校生を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催してきたが、小学生を対象にした養成講座は初めて。

参加した6年生108人は、最初にアニメで認知症の疾患や接する基本姿勢、思いやりの大切さを学んだ。次に家族の接し方についての寸劇を見て、5人ずつのグループになり、「自分だったらどう対応するか」「家族がなったらどうするか」をテーマに話し合った。

児童たちは「笑顔で話をする」「すぐに否定せず、相手の気持ちを考えて会話する」などの意見を述べ、最後に認知症の人を応援する意思を示すオレンジリ



ングを受け取り、「キッズサポーター」になった。

子どもたちは「認知症について知らなかったので勉強になった」「お年寄りと話す時は相手の気持ちになることが大切だと思った」などの感想を口にした。

小暮恒二校長は「講座をきっかけに、高齢者の気持ちを思いやる接し方ができるようになってほしい」と話していた。

<埼玉新聞 2015年7月3日(金)>

## 今月の名言

たくさん失敗したけど、心が折れなかったのは、夢があったから



本田圭佑  
(プロサッカー選手  
ACミラン所属 日本代表)

今や誰もが知っているサッカー選手。実力は折り紙つきですが、「ビッグマウス」のイメージも(笑)。

そんな彼が、自ら「たくさん失敗」と口にすると驚きです。

彼は小学校の卒業文集に、「将来の夢」を綴っています。その内容が具体的かつ明確で、さらにことごとくそれを実現したので、すごい一言です。

どんなにつらくても、夢があれば頑張れるし、夢に向かって努力したから結果が伴ったんですね。

どうしても日常に追われてしまいがちですが、だからこそ本田圭佑選手のこの精神、忘れないようにしたいものです。

## スタッフ紹介

訪問介護事業所  
サービス提供責任者  
**三嶋 弘子**



## &lt;プロフィール&gt;

平成27年4月入社  
出身地:大阪府  
血液型:O型  
資格:介護福祉士

## &lt;自己紹介&gt;

人が好き、この「在宅介護」という仕事が好き。この仕事が「天職」だと思っています。

とはいえ、飽きっぽい自分の性格。そんな性格の私が、この仕事を続けてこれているのは「ありがとう」という言葉と、ご利用者様の「笑顔」に触れることができるからです。

これからも、一人でも多くの「ありがとう」と「笑顔」が作れるよう、努力してまいります。

(代表・井上より)

「頑張る!」が口癖の、とてもバイタリティあふれる人です。他の社員にも、新しい風を吹き込んでくれています。経験を積んで慣れていくと、つい薄れてしまいがちですが、「頑張る精神」は忘れてはいけないと思います。ですので、こういう方の存在は貴重です。また笑い上戸で、職場に明るい雰囲気を作ってくれています。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>